



The World's Leading Label & RFID Software

**BarTender
Application Suite
導入ガイド**

概要、インストール、
および基本的な利用方法

(日本語版)





世界トップクラスのラベル & RFID ソフトウェア

**BarTender
Application Suite
導入ガイド**

概要、インストール、
および基本的な利用方法

(日本語版)

改訂版 10.09.22.1638
日本語版



© Copyright Seagull Scientific, Inc. 2001-2010. All rights reserved.

Information in this document is subject to change without notice. No part of the publication may be reproduced, transmitted, transcribed, stored in a retrieval system, or translated into any language in any form or by any means without the written permission of Seagull Scientific, Inc. *HASP[®]* is a registered trademark of Aladdin Knowledge Systems, Ltd. *Microsoft, Windows, Windows Vista, the Windows Vista Start button, and the Windows logos are trademarks, or registered trademarks of Microsoft Corp. in the USA and/or other countries. SQL Server[™]* is a trademark, of Microsoft Corporation. *Oracle[®]* is a registered trademark of Oracle Corporation. *SAP[™]* is a trademark of SAP Aktiengesellschaft. *The Ready for IBM Websphere software mark and the trademarks contained therein are trademarks of IBM Corp. IBM is not the licensor of this Business Partner's product and does not make any warranties regarding this Business Partner's product. BarTender[®]* is a registered trademark of Seagull Scientific, Inc.

All other registered names and trademarks referred to in this manual are the property of their respective companies.

目次

第1章： BarTender Application Suiteの概要	1
概要	1
BarTender	1
Seagullの提供するドライバ	1
統合	2
Commander	2
BarTender .NET SDKs	3
システム管理	4
BarTender Security Center	4
Printer Maestro	5
Librarian	6
History Explorer	6
Seagullライセンス サーバー	7
System Database Setup	8
印刷ユーティリティ	8
Webプリントサーバー	8
Reprint Console	9
Print Station	10
Batch Maker	10
第2章： インストールとライセンス認証	11
インストールの手順	11
セキュリティ キーの取り付け (ハードウェア キー付きライセンスのみ)	11

Seagull License Serverのインストール (オートメーション (Automation)版のみ).....	12
BarTenderと 付属アプリケーションのインストール	13
BarTender システム データベースのインストール	14
システム データベースの作成と管理.....	14
システム データベースでのデータのログとファイルの保存.....	14
プリンタ ドライバのインストール、アップグレード、 および削除.....	15
概要	15
ドライバインストールの手順	15
プリンタ ドライバのアップグレード	16
プリンタ ドライバの削除	16
BarTender Webプリントサーバーのインストール	16
ライセンス認証.....	17
第3章： BarTenderの使用法	19
概要	19
新しいラベル フォーマットの作成.....	20
適切なプリンタの指定.....	20
ラベル サイズの指定.....	21
テキストオブジェクトの作成	23
バーコード またはRFIDオブジェクトの作成	23
オブジェクトの選択と選択解除.....	23
ラベル オブジェクトの移動	24
オブジェクトの引き伸ばしとサイズの変更	24

ラベル オブジェクトのコピー、切り取り、貼り付け	24
オブジェクトをラベル表示範囲から削除する	25
テキストまたはバーコードオブジェクトのデータソースの指定	25
印刷用のデータベースへの接続を確立する	27
バーコードのコード体系の変更	28
フォントの変更	29
ラベル オブジェクトのプロパティに対するその他の変更	29
ピクチャのインポート	29
ラベルの印刷	30
既存のBarTenderフォーマットからの開始	31
BarTenderツールボックス	31
BarTenderヘルプへのアクセス方法	32
第4章： Commanderインテグレーション ユーティリティ	33
Commanderとは?	33
Commanderの一般手順	34
Commanderの起動	34
Commanderのタスク一覧の作成/変更	34
Commanderのタスクの削除、移動、再配列	35
Commanderのタスク一覧の実行	35
その他の情報	35
付録A： シリアル通信	37
概要	37
設定とケーブルに関する問題	37

シリアルポートの設定	38
プリンタでのシリアルパラメータの設定	39
Windowsでのシリアルパラメータの設定	39
適切なシリアルケーブルの使用法	40
付録B： 性能向上のための設定	41
性能向上のためのヒント	41
印刷機能は、必ずしもすべてのプログラムに対応していない	42
付録C： プリンタドライバのトラブルシューティング	43
印刷時の問題を解決するための操作手順	43
付録D： 技術サポート	49
技術サポートを受けるにはソフトウェアの登録が必ず必要です	49
必ずご使用のコンピュータのすぐそばから電話してください	49
Visual Basic スクリプトの技術サポートについて	49
技術サポートの連絡先情報	50
索引	51

第1章： BarTender Application Suiteの概要

概要

BarTender Application Suiteには、メインのデザイン・印刷アプリケーションに加えて様々な付属アプリケーションおよびその他のコンポーネントが含まれています。それらを全てあわせて活用することで、他のラベルソフトウェアには無い能力と柔軟性を発揮することが可能です。

ご購入いただいたBarTenderの版によっては、インストールから30日間のみご利用いただけるアプリケーションが含まれている場合もあります。別途記載が無い限り、インストールされたコンポーネントはWindowsの[スタート]メニューの BarTender フォルダから実行できます。

BarTender



BarTenderは、ラベルおよびバーコードのデザインと印刷に使用するインのアプリケーションです。BarTenderの2つのオートメーション (Automation)版も、RFIDタグのエンコードをサポートします。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ: アプリケーションを実行中にF1を押してください。

この文書の「BarTenderの使用」の章では基本的な使用方法を説明します。

Seagullの提供するドライバ



Seagull Scientificは最初の熱式プリンタ用Windowsプリンタドライバを開発しました。現在、当社は2,000モデル以上のラベルプリンタをサ

ポートする世界で最高かつ最も評価の高いドライバを生産しています。

BarTenderは、レーザー、インクジェットおよびドットマトリクス方式を含む世界のほぼ全てのプリンタ製造者の提供するドライバで使用可能です。ただし、ラベルプリンタで印刷を行う場合は、BarTenderはSeagull™による独自のドライバを使用することによって最高の性能を発揮することができます。

さらに詳しい情報

この文書の [プリンタドライバのインストール、アップグレード、および削除](#) の項を参照してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_TheAdvantageOfDriversBySeagull.pdf

統合

BarTenderのベーシック(Basic)版以外のすべての版は外部のデータを読み込むことができます。ただし、他のソフトウェアからの操作が可能なのは2つのオートメーション(Automation)版のみです。その方法の一部はこの項で解説します。

さらに詳しい情報

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_IntegrationOverview.pdf

Commander

(BarTenderの2つのオートメーション(Automation)版のみ、30日以降もサポートされます。)



Commanderは、他のソフトウェア上からBartenderの操作を可能にするミドルウェアユーティリティです。BarTender SDKを利用して同様の操作を行うことが不便な場合および不可能な場合に利用します。ソフトウェアのアプリケーションでラベルを生成することが必要な場合は、このユーティリティがネットワーク上で選択した場所へのファイルの配置や、TCP/IPソケット接続を通じて情報を送信するなどのトリガ操作を行います。Commanderはこの「トリガ」を検出し、BarTenderを「起動」して、データがラベルデザインに統合され、ラベルが自動的に印刷されるようにします。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ:アプリケーションを実行中にF1を押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_IntegrationOverview.pdf

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_Commander.pdf

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_CommanderExamples.pdf

BarTender .NET SDKs

BarTender .NET SDKsが利用できるようになるまでは、BarTenderを他のソフトウェア上からプログラムによって操作する唯一の方法はBarTenderのActiveX Automationインターフェースを通じて操作することでした。この方法は、現在も有効で柔軟性のあるBarTenderの操作方法の一つです。しかし現在では、.NETプログラマにはさらに速く、より簡単なオプションがあります。BarTender .NET Software Development Kits (SDKs)には予め書かれたソースコードおよび拡張用の文書が含まれており、BarTenderを操作するコードを書く作業を非常に簡単なものにします。では、自動ラベル印刷のために一般的に必要とされるルーティンを何もないところから作りあげる必要はありません。C#またはVB.NETを理解していれば、BarTenderの機能をシームレスに他のアプリケーションに統合させることができます。

BarTender .NET SDKsに含まれる内容:

- ◆ シンプルなwebアプリケーションを含むシンプルなソースコードとプロジェクトファイル
- ◆ 拡張用の文書
- ◆ Visual Studioとの統合

さらに詳しい情報

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_BarTender's.NET_SDKs.pdf

システム管理

ラベル印刷の環境を管理し、安全性を確保するための複数のユーティリティが含まれています。

BarTender Security Center

(BarTenderの2つのオートメーション(Automation)版のみ、30日以降もサポートされます。エンタープライズ オートメーション (Enterprise Automation) 版でのみ使用できる機能もあります。)



システム管理者は、BarTender Security Centerにより、BarTender Application Suiteの各アプリケーション内の特定の機能を実行できるユーザーおよびユーザーのグループを制御する許可を定義できます。たとえば、あるユーザーがラベル フォーマット デザインの変更と印刷の両方を行うことができ、他のユーザーが印刷のみをできるように指定することができます。Security Centerは「デジタル署名」もサポートしています。これにより、ユーザーが特定のアクションを実行する際に、パスワードを入力させて、ユーザー ID を確認することができます。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ:アプリケーションを実行中にF1を押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_Label_SystemSecurity.pdf

Printer Maestro

(以下で一覧表示されているすべての Printer Maestro 機能が、すべてのエディションで最初の使用から30日目以降も使用できるわけではありません。)



Printer Maestro ソフトウェア アプリケーションは、Windows 内の複数の印刷管理機能を1つの表示に統一して、プリンタと印刷ジョブを管理し易いようにします。さらに Printer Maestro はプリンタ補充品を管理するための画期的な新しい機能を搭載しました。

Printer Maestro には次の機能が含まれています。

- ◆ プリンタと印刷ジョブの管理
 - ネットワークの各プリンタと印刷ジョブの状態を、1つの便利なカスタマイズ可能なビューに表示して管理する。(Printer Maestro がない場合は、Windows では各異なるプリンタのビューを表示する必要があります)。
 - 電子メールやテキストのメッセージでプリンタと印刷ジョブのエラーを警告する。
 - プリンタ設定をし易くする。
- ◆ プリンタ補充品の管理 (エンタープライズ オートメーション (Enterprise Automation) 版のみ)
 - プリンタの用紙の使用を追跡して、「用紙の不足」の警告を送信する。
 - ラベル、リボンヘッドなどの印刷消耗品の倉庫在庫を追跡して「在庫の不足」の警告を送信する。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ:アプリケーションを実行中にF1を押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_Printer_Maestro.pdf

Librarian

(エンタープライズ オートメーション (Enterprise Automation)版のみ、最初の30日を過ぎた後も使用可能。)



BarTender Librarianは大きなグループのユーザー、設計者、および管理者が協力して安全にラベルのフォーマットやその他のファイルの保存および編集の管理を行えるようにします。LibrarianはファイルをBarTender システム データベースに保存し、ハードディスクには「開放」しません。その後、ファイルのカスタム状態 (提案中、承認済み、発行済みなど) およびそれらの状態の移行に関するワークフローの管理ルールを定義することができます。編集履歴を簡単に確認でき、さらに必要があればファイルの古いバージョンにロールバックすることも可能です。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ:アプリケーションを実行中にF1を押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_Librarian.pdf

History Explorer

(BarTenderの2つのオートメーション(Automation)版のみ、30日以降もサポートされます。)



History Explorerは、以前に印刷したラベルに関するログ情報や、印刷ジョブを処理したアプリケーションによって作成されたすべてのメッセージを表示するアプリケーションです。History Explorerは、BarTenderを使用してラベル印刷の動作をチェックすることができるようにするために必要です。History Explorerを動作させるには、BarTender システム データベース ([BarTender システム データベース](#)の項を参照)をBartender Label Management Suiteからログできるように設定する必要があります。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ:アプリケーションを実行中にF1を押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_History_Explorer.pdf

Seagullライセンス サーバー

(2つのBarTender オートメーション(Automation)版でのみ必要です。)



Seagull License Server (SLS)は2つのオートメーション(Automation)版で利用できる最大数のプリンタ監視するとともに強化するソフトウェアユーティリティです。このプログラムは、ネットワーク上のコンピュータで、非表示かつ自動的に動作します。SLSとBarTender間の動作はシームレスに行われるため、BarTenderを使用するユーザーは、SLSが実行中であることさえ知る必要がありません。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ:アプリケーションを実行中にF1を押してください。

BarTenderオンラインヘルプの「ライセンス設定ダイアログ」の項もあわせて参照してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_LicensingForBarTendersAutomationEditions.pdf

System Database Setup

(BarTenderの2つのオートメーション(Automation)版のみのオプション機能)



System Database Setupは、BarTenderシステム データベースのセットアップをお手伝いするユーティリティです。SQLサーバーもしくはSQL Express データベースのいずれかをホストとすることができます。BarTenderを使用するのにデータベースは必要ではありませんが、BarTender印刷ジョブに関する情報をログしたり、その他の BarTender Application Suite からのメッセージを記録するには必要です。これによって History Explorer を使用してさらにチェックしたり、ラベルの Reprint Consoleを使用することが可能になります。また、Librarianの使用にも必要となります。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ:アプリケーションを実行中にF1を押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_BTSystemDatabase.pdf

印刷ユーティリティ

Webプリントサーバー

BarTenderプリントサーバー は、BarTenderのエンタープライズ オートメーション (Enterprise Automation)版 に付属しているASP.Netアプリケーションです。最も

一般的なwebブラウザを使って、サーバで実行中の中心的なBarTenderへの接続および操作を行うことを可能にします。LAN、WANまたはインターネット上のリモートプリンタを通じて、どこからでもBarTenderのラベルを選択および出力できます。

さらに詳しい情報

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_BarTenderWebPrintServer.pdf

Reprint Console

(BarTenderの2つのオートメーション(Automation)版のみ、30日以降もサポートされます。)



Reprint Console は、以前に印刷したラベルを簡単に再印刷します。ジョブ全体、または一部を選択することができます。他のプログラム内から同じラベルを再印刷するのに必要な一連の動作を再作成できない場合があるので、これは自動印刷環境で特に便利です。例えば、他のプログラムのデータベースの情報が変更されている場合。**Reprint Console** はBarTender システムデータベースを使用する必要があります。前の章で説明されています。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ: アプリケーションを実行中にF1を押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_ReprintConsole.pdf

Print Station



BarTenderの"Print Station"ユーティリティは、技術知識のないユーザーでもラベルデザインプログラムの内容を見ることなく"ポイントしてクリックするだけ"でラベルの選択と印刷ができる環境を提供します。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ:アプリケーションを実行中にF1を押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_PrintStation.pdf

Batch Maker

(BarTenderのベーシック(Basic)版では、30日目以降はサポートされていません。)



Batch Makerユーティリティは、簡単に複数のラベルのフォーマットのリストを指定して1つの"バッチ"として印刷することを可能にします。バッチはBatch Maker自体から印刷することも、BarTender、Print Station、Windows Explorerから印刷することも可能です。

さらに詳しい情報

オンラインヘルプ:アプリケーションを実行中にF1を押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_BatchMaker.pdf

第2章：インストールとライセンス認証

インストールの手順

インストールすべきBarTenderのコンポーネントは、購入した版および必要な機能によって異なります。BarTenderのコンポーネントをインストールするには、以下の手順に従います。BarTenderのCDROMを使用すると、自動的に開始画面が表示されます。この画面から、すべてのソフトウェアコンポーネントをインストールすることができます。

コンポーネントをインストールした後、ソフトウェアのライセンス認証を行うよう促されます。この手順は必須です。(詳しくは[ライセンス認証](#)を参照してください。)

セキュリティ キーの取り付け

(ハードウェア キー付きライセンスのみ)

ご使用のBarTenderの版に、HASP[®] セキュリティ キーが付属している場合は、コンピュータの平行ポートかUSBポートに、セキュリティ キーを取り付ける必要があります。(2つのオートメーション(Automation)版では、Seagullライセンスサーバーを実行するコンピュータにキーを取り付けます。下記の[Seagull License Serverのインストール](#)を参照してください。)このセキュリティ装置が装着されていない場合、BarTenderは、デモンストレーション モードでのみ動作します。ラベルの印刷時にテキストフィールドおよびバーコードの任意の文字または数字の1つが変更されます。

HASP4セキュリティキードライバのインストール方法

1. CDドライブにBarTender CD ROMを挿入します。開始画面が自動的に表示されます。
2. 開始画面で、**[BarTender Label Management Suite]**をクリックします。次に**[HASP4セキュリティキードライバ]**をクリックし、インストール プログラムによって表示された指示に従います。
3. キータイプに対応する以下の説明に従って続行します。

パラレル ポート キーの取り付け

1. 使用するコンピュータのパラレル ポート (LPT1を推奨) にキーを差し込みます。
2. 必要に応じて、Seagull Scientificキーの背面に他社ベンダのセキュリティキーを接続します。
3. 必要に応じて、キー自体にケーブルを直接差し込みます。

USBポート キーの取り付け

空いているUSBポートにキーを差し込みます。

Seagull License Serverのインストール

(オートメーション (Automation)版のみ)

BarTenderの2つのオートメーション(Automation)版を使用する場合は、Seagull ライセンス サーバーをインストールしてから、BarTenderをインストールします。このアプリケーションは、BarTenderを実行するコンピュータを含めたネットワーク上のどのコンピュータにもインストールできます。

1. ネットワーク上で、Seagullライセンス サーバーのホストになるコンピュータを選択します。BarTenderが動作するワークステーションから、ネットワークを

經由してアクセス可能なコンピュータであれば、選択するコンピュータは任意でかまいません。

2. まだ開始画面が表示されていない場合は、BarTenderのCD ROMをCDドライブに挿入します。開始画面が自動的に表示されます。
3. 開始画面で、**[BarTender Label Management Suite]**をクリックします。次に、**[Seagullライセンス サーバー]**をクリックします。
4. インストールの終わりが近づいたときに、**ライセンス認証ウィザード**を実行する機会があります。このウィザードを実行する場合は、画面の指示に従います。([ライセンス認証](#)を参照してください。)

BarTenderと 付属アプリケーションのインストール

BarTenderを実行する各コンピュータについて、以下の手順を実行します。

1. まだ開始画面が表示されていない場合は、BarTenderのCD ROMをCDドライブに挿入します。開始画面が自動的に表示されます。
2. 開始画面で、**[BarTender Label Management Suite]**をクリックします。次に**[BarTender]** をクリックし、インストール プログラムによって表示された指示に従います。

次の付属アプリケーションもデフォルトで一緒にインストールされます。

- ◆ Commander
- ◆ Security Center
- ◆ Librarian
- ◆ History Explorer
- ◆ Printer Maestro
- ◆ System Database Setup
- ◆ Reprint Console
- ◆ Print Station
- ◆ Batch Maker

購入したエディションにより、上記のアプリケーションのいくつかが30日間の「トライアル機能」としてのみ利用できる場合があります。

いくつかの付属アプリケーションを使用するには、新しい BarTender システム データベースを作成するか、既存のものに接続する必要があります。詳しくは、[BarTender システム データベース](#)の項を参照してください。

BarTender システム データベースのインストール

(このBarTender システム データベースのトピックは、2つのオートメーション (Automation)版にのみ適用されます。)

システム データベースの作成と管理

System Databaseがインストールされていない場合は、BarTender のセットアップユーティリティが自動的にSystem Database Setupウィザードを起動します。システム データベースまたはMicrosoft SQL Express のように Microsoft SQL Server を使用することができます。無料で入手できます。

System Database Setup ウィザードをすぐに実行しない場合は、Windows の [スタート] メニューの BarTender フォルダから後でこのオプションを手動で選択することができます。

システム データベースでのデータのログとファイルの保存

BarTender Label Management Suite のほとんどのアプリケーションはシステム データベースに情報をログすることができます。但し、各アプリケーションは最初に有効にする必要がある自身のログおよびストレージ オプションを持っています。各アプリケーションのヘルプ システムで確認してください。

プリンタ ドライバのインストール、アップグレード、および削除

概要

Bartender 8.0からSeagull™製ドライバにはSeagullドライバウィザードユーティリティが付属されています。

Microsoftの「プリンタの追加」ウィザードに関する注意:

ドライバをインストール、削除、およびアップグレードするには、Seagullのドライバウィザードを必ず使用するよう请您にしてください。Windowsに付属されている「プリンタの追加」ウィザードはドライバのアップグレードを正しく実行しない場合があります。

ドライバインストールの手順

1. プリンタの電源をオフにして適切なケーブルを接続して、もう一度電源をオンにしてください。
2. プリンタがプラグ&プレイをサポートしていて、USBやパラレルケーブルを使用して接続した場合は、Windowsの「プリンタの追加」ウィザードが自動的にプリンタを検出してドライバのインストールダイアログを表示します。
[キャンセル]をクリックしてこのWindowsウィザードを使用してインストールしないようにしてください。
3. 代わりに、SeagullプリンタドライバがあるフォルダからDriverウィザードユーティリティを実行してください。(デフォルトの場所はC:\Seagullです)
4. [プリンタドライバのインストール]を選択してウィザードを実行します。
5. Seagull製ドライバが正しくインストールされます。

プリンタ ドライバのアップグレード

プリンタドライバをアップグレードする場合は、Windowsの[プリンタの追加]ウィザードを使用しないでください。場合によってはすべてのドライバファイルが正しくアップグレードしないで、プリンタドライバが壊れた状態になっている場合があります。

既存のプリンタドライバをアップグレードする場合は、SeagullのDriverウィザードを次の手順で使用してください。

1. ドライバがあるフォルダからDriverウィザードユーティリティを実行してください。（デフォルトの場所はC:\Seagullです）
2. **[プリンタドライバのアップグレード]**を選択してウィザードを実行します。

プリンタ ドライバの削除

システムからプリンタドライバを削除する場合に、Driverウィザードを使用することができます。

1. ドライバがあるフォルダからDriverウィザードユーティリティを実行してください。（デフォルトの場所はC:\Seagullです）
2. **[プリンタドライバの削除]**を選択してウィザードを実行します。

BarTender Webプリントサーバーのインストール

このアプリケーションはエンタープライズ オートメーション(Enterprise Automation)版でのみ使用することができます。このオプションをインストールするには:

1. まだインストール開始ダイアログがまだ表示されていない場合はCDドライブにBarTender CD ROMを挿入します。開始ダイアログが自動的に表示されます。
2. **[BarTender Label Management Suite]**をクリックします。
3. **[BarTender Webプリントサーバー]**をクリックして、その説明に従います。

ライセンス認証

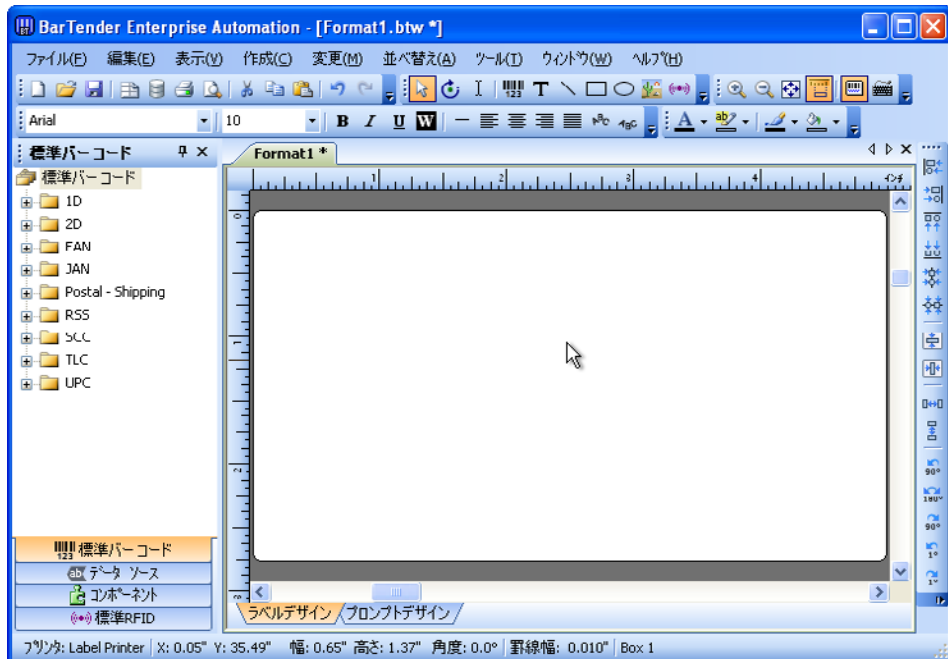


インストール中に、ソフトウェアのライセンス認証を実行できます。ライセンス認証は、ソフトウェア製品の使用制限を解除して、ソフトウェアの著作権を守るための処理であり、すばやく簡単に匿名で行われます。ライセンス認証を選択すると、**ライセンス認証ウィザード**が実行されます。ライセンス認証とプライバシーの詳細については、**[ヘルプ]**ボタンをクリックしてください。

第3章： BarTenderの使用法

概要

この章では、ラベルのデザイン、ラベルフォーマットの変更、および印刷データの指定について説明していきます。まず、BarTenderを起動します。空白のラベルが表示され、画面上に表示されたマウスのカーソルは、矢印型のポインタモードになっています。



新しいラベル フォーマットの作成


新しいラベル フォーマットを開始するには:

1. [ファイル]メニューで[新規作成]を選択します。新規フォーマットウィザードが開きます。
2. 新規ラベル形式ウィザードにより、フォーマットデザインの開始に必要な手順が示されます。

ウィザードを使用しない場合は、次の2つの節の説明に従ってください。

適切なプリンタの指定

ラベル フォーマットをデザインするときは、まず最初に、そのフォーマットで作成したラベルの印刷に通常使用するプリンタを特定します。それによって、そのプリンタで高速印刷できないフォントがラベルに含まれていたり、ラベルフォーマットのサイズがプリンタのメモリ以上になったりというようなことは少なくなります。


1. メイン ツールバーの[印刷]ボタン  をクリックするか、[ファイル]メニューの[印刷]をクリックし、印刷ダイアログを表示します。
2. [プリンタ名]オプションの右にある下矢印をクリックし、インストールされているプリンタドライバの一覧を表示します。
3. 印刷するプリンタの名前をクリックします。

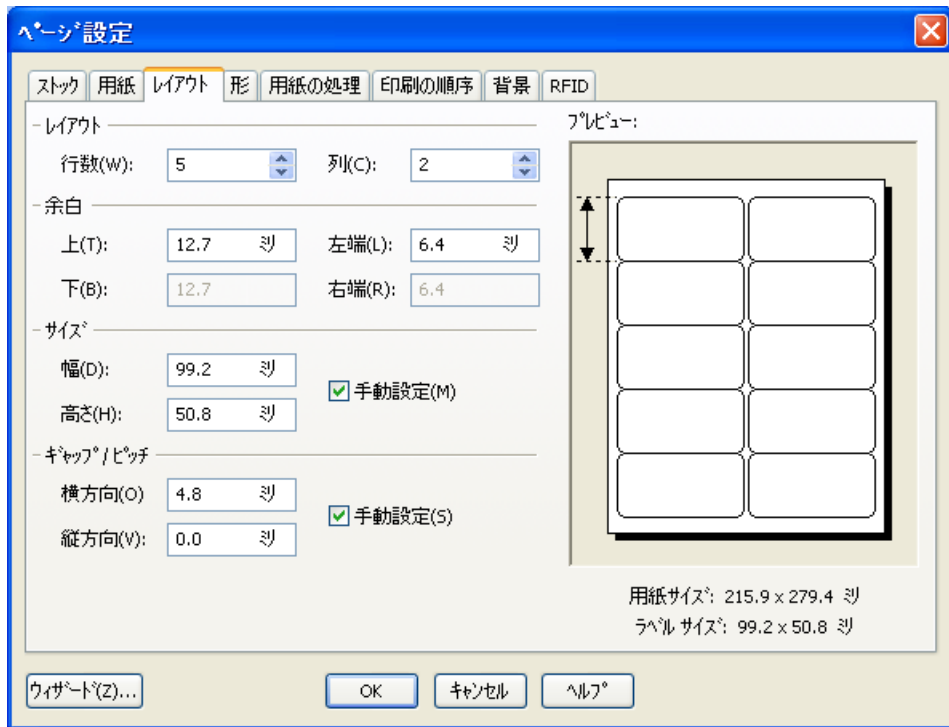
注意:

目的のプリンタが一覧にない場合は、Seagull Driverウィザードを使って、プリンタ ドライバをインストールします。 [プリンタドライバのインストール、アップグレード、および削除](#)を参照してください。

4. [閉じる]をクリックします。


ラベル サイズの指定

1. メインツールバーの[ページ設定]ボタン、またはファイルメニューの[ページ設定]をYクリックするか、ラベル表示範囲の空白部分をダブルクリックして、[ページ設定]ダイアログ  を表示します。
2. [ストック]タブをクリックし、[グループ]リストからラベル ストックのメーカーを選択します。(ラベル ストックのメーカーが一覧に表示されていない場合は、手順4に進みます)。
3. [ストック名]リストから、ストックを選択します。(ストックが一覧に表示されていない場合は、手順4に進みます。表示されている場合は[OK]をクリックします)。
4. [ページ]タブをクリックして、[ページサイズ]と[向き] ([縦]または[横]) を指定します。



5. [レイアウト]タブをクリックし、用紙の余白、行数、および列数を指定します。(通常、レーザープリンタのみで使用することができ、感熱式プリンタのラベルストックには列と行 (またはこのうちのいずれか) が設定されています)。
6. ラベルの寸法を指定するには、[手動設定]チェックボックスをオンにして、[ラベル]の[行の高さ]と、[列幅]の値を指定します。([手動設定]チェックボックスがオンになっていなければ、ラベルの高さと幅は自動的に設定されます)。
7. **OK**をクリックします。

テキストオブジェクトの作成

1. メイン ツールバーの[テキスト]ボタン  をクリックします。
2. カーソルをラベル表示範囲に移動して、オブジェクトの中央になる位置をクリックします。



注意:

BarTenderツールボックスを使用してオブジェクトをラベルに追加することもできます。この後の [BarTender ツールボックス](#) を参照してください。

バーコード またはRFIDオブジェクトの作成

1. ツールボックスの[標準バーコード]または [標準RFID]ペインを開きます。(この後の [BarTender ツールボックス](#) を参照してください。) それぞれには、既に設定されているオブジェクトのリストがあります。バーコードはコード体系とその他オプションが既に選択されています。RFIDオブジェクトはタグタイプとデータ形式スキームで設定されています。
2. 目的のオブジェクトをラベルにドラッグします。

注意:

そのプロパティすべてのデフォルト値のバーコードやRFIDオブジェクトにする場合は、メインツールバーのバーコードボタン 、またはRFIDボタン  をクリックして、ラベルをクリックすることができます。

RFIDオブジェクトを追加するには、1つまたは2つのオートメーション (Automation)版を所有している必要があります。

オブジェクトの選択と選択解除

オブジェクトを選択するには、それをクリックします。オブジェクトを選択すると、オブジェクトのサイズ変更を使用するハンドルが、四隅に1つずつと四辺の中

央に1つずつ、合計8つ実線で示されます。オブジェクトを選択解除するには、そのオブジェクト以外の任意の場所をクリックします。

ラベル オブジェクトの移動

ラベル表示範囲のオブジェクトの位置を変更する簡単な方法は、マウスを使ってオブジェクトをクリックし新しい位置に移動することです。

ラベル上のオブジェクトを別のラベルに移動するには、この後の[ラベルオブジェクトのコピー、切り取り、貼り付け](#)を参照してください。

オブジェクトの引き伸ばしとサイズの変更

ラベル オブジェクトを1回クリックして選択してから、オブジェクトの枠上にある四角形の小さなハンドルをどれかドラッグすると、ラベルオブジェクトのサイズが変わります。

1. オブジェクトを選択し、マウスのポインタを四隅のハンドルの1つに合わせて、高さと幅を変更します。単一方向にのみサイズ変更するには、四辺のハンドルの1つにポインタを合わせます。カーソルは、適切な位置に来ると両端がとがった矢印に変わります。
2. オブジェクトが目的のサイズになるまで、そのハンドルをクリックアンドドラッグします。

ラベル オブジェクトのコピー、切り取り、貼り付け

Windowsのクリップボードの使用方法

Windowsのクリップボードと、[コピー]、[切り取り]、[貼り付け]ボタンを使用して、バーコードやテキスト オブジェクトを、別のラベル フォーマットや現在のラベル

フォーマットの別の場所にコピーして (または切り取って) 貼り付けることができます。詳細については、Windowsの文書を参照してください。

クリック アンド ドラッグの使用法

オブジェクトは、ラベル フォーマット上の新しい場所にクリック アンドドラッグすることもできます。CTRLキーを押してこの操作を行うと、新しい場所にコピーが作成されます。

または、右クリックしてから、目的の場所にドラッグすることもできます。マウスボタンを離すと、ポップ アップ メニューが表示されます。メニューの[ここにコピー]をクリックします。

オブジェクトをラベル表示範囲から削除する



オブジェクトを選択し、DELETEキーを押すか、[編集] メニューの[削除]をクリックします (オブジェクトをラベル表示範囲から除去し、同時にその仕様のコピーをWindowsクリップボードに保存するには、[削除]コマンドではなく[切り取り]コマンドを使います)。

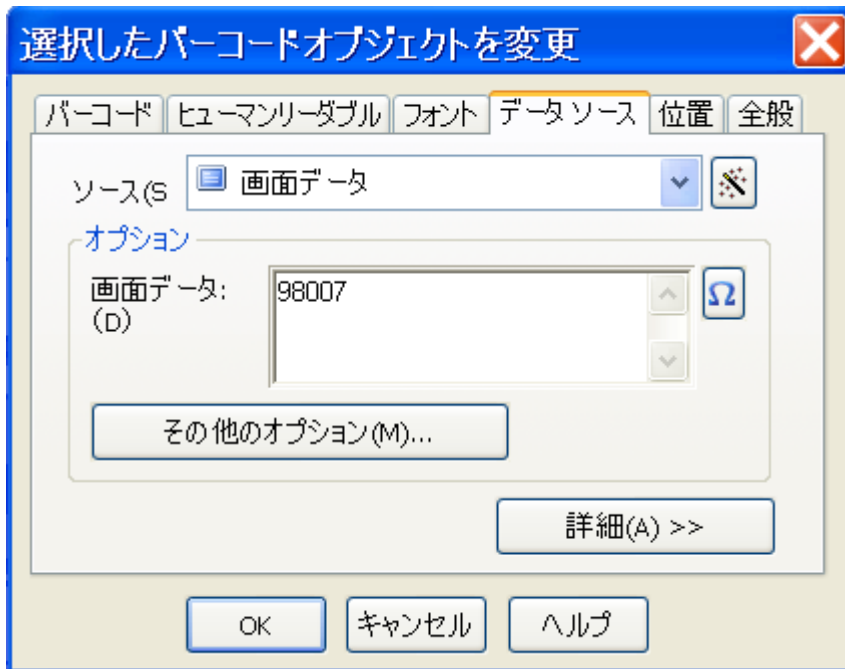
テキストまたはバーコードオブジェクトのデータソースの指定

通常、ラベルのデータは、さまざまなソースから取り込まれます。BarTenderで作成されたラベル フォーマットには、以下のような情報を取り込むことができます。

- ◆ 区切り付きテキスト ファイル、固定幅テキスト ファイル、OLE DB、ODBC (オープン データベース接続性) データベースとスプレッド シート、SAP™ IDocs などの、データベースに保存されたデータ
- ◆ Visual Basicスクリプトで生成されたデータ
- ◆ コンピュータのシステム日付および時刻
- ◆ 画面上のラベルに直接入力したデータ


ラベル オブジェクトのデータソースを設定するには:

1. ラベルのデータを変更するラベル オブジェクトをダブルクリックします。
[...オブジェクト.. 変更] タブ ダイアログが表示されます。
2. まだ表示されていない場合は、[データソース] タブをクリックして、
[データソース]プロパティ ページを表示します。
3. データソースの選択プロセスの手順を表示するには、サブ文字列ウィザードボタン  をクリックしてサブ文字列ウィザードを起動します。または、次の手順を続けます。
4. [ソース]ドロップ ダウンリストから目的のデータソースを選択した後に、このタブの[オプション]にあるソース固有のパラメータを設定します。ソースとして [データベース]を選択した時点でデータベースの設定が済んでいなければ、[データベースのセットアップ]ボタン  をクリックします。この後の[印刷用のデータベースへの](#)を参照してください。



複数のデータソースのサブ文字列を連結するには:

場合によっては、複数のデータソースの情報を単一のバーコード、またはテキストオブジェクトに配置しなければならないことがあります。このような場合は、複数データサブ文字列を連結し、単一文字列の出力として扱います。この操作を行うには、以下の手順に従います。

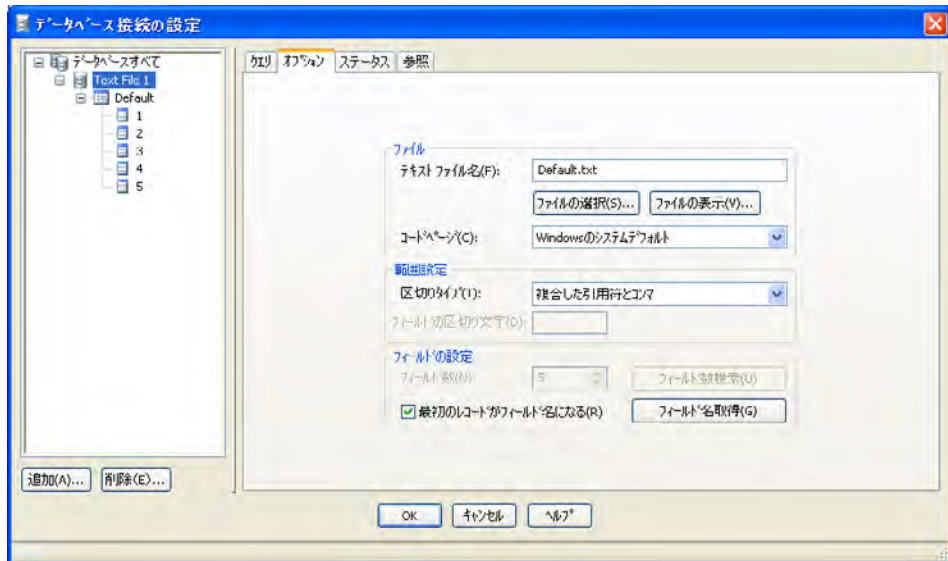
1. [...オブジェクト変更]ダイアログの... [データソース] タブにある[詳細]ボタンをクリックします。
2. [サブ文字列一覧]の下にあるツールバーの[新規作成]ボタン  をクリックして、サブ文字列を追加作成します。

データの確認、シリアル番号化、プロンプトの作成など、データソース関連の詳細トピックについては、BarTenderのヘルプを参照してください。


印刷用のデータベースへの接続を確立する

部品一覧や顧客一覧など、データリストを使用してラベルを印刷するのが望ましい場合があります。それには、ラベルのデータをデータベースから読み込む必要があります。BarTenderは、以下のデータベースタイプのデータを読み込むことができます。

- ◆ 区切り付きテキストファイル、および固定幅テキストファイル
- ◆ Oracle[®], Microsoft Access, Excel, および SQL Server[™]
- ◆ その他のOLE DBサポート データベース
- ◆ ODBC (オープン データベース接続性)
対応のデータベースとスプレッドシート
- ◆ SAP IDoc



BarTenderでデータベースからの読み込みを指定するには:

1. BarTenderの[メイン] ツールバーにある[データベースのセットアップ]ボタン  をクリックして、[データベースのセットアップ]ダイアログを開きます。データベースの追加ウィザードがダイアログの中央に表示されます。
2. [データベースウィザードの追加]により、データベースの設定に必要な手順が示されます。

テーブルの結合、複数データベースからのデータ読み込み、およびクエリの指定については、BarTenderのヘルプを参照してください。

バーコードのコード体系の変更

1. バーコードをダブルクリックして、[バーコード オブジェクトの変更]ダイアログを表示します。
2. バーコード タブをクリックします。

3. **[コード体系]**ボックスの右にある下矢印をクリックして有効なバーコードの一覧を表示します。
4. 目的のコード体系の名前をクリックします。
5. **OK**をクリックします。

フォントの変更


1. バーコードまたはテキスト オブジェクトをダブルクリックします。[...**オブジェクト変更**] ダイアログが表示されます。
2. **フォント** タブをクリックします。
3. 必要に応じて、書体名、サイズ、斜体、太字、拡大縮小、およびスクリプトを変更します。
4. **OK**をクリックします。

ラベル オブジェクトのプロパティに対するその他の変更

オブジェクトをどれかクリックすると、そのオブジェクトのタイプに対応した [...**オブジェクト変更**] ダイアログが表示されます。タブをクリックして、該当するプロパティ ページを開きます。

ピクチャのインポート

この手順は、ラベル間でピクチャが変わらない場合に使用します。



1. **メイン** ツールバーの[ピクチャ]ボタン  をクリックします。
2. ピクチャを配置する場所をクリックします。ラベル フォーマットにサンプル ピクチャが表示されます。
3. そのピクチャをダブルクリックして、[**ピクチャ変更**] ダイアログを表示します。

4. [種類]オプションの設定を[埋め込みピクチャ]のまま変えずに、[ピクチャの選択]ボタンを押し、[ピクチャの選択]ダイアログを表示します。
5. [ピクチャの選択]ダイアログは、標準的なWindowsディレクトリにアクセスするためのダイアログです。このダイアログを使用して、インポートするピクチャの位置を確認し、それをダブルクリックします。処理が終わると、自動的に[ピクチャ変更]ダイアログに戻ります。
6. **OK**をクリックします。

ラベル表示範囲にピクチャを配置した後は、[ラベルオブジェクトの移動](#)この前ので説明したように、配置を変更することができます。

データベースから画像をインポートすることもできます。詳しい説明に関しては、オンラインヘルプを参照してください。

ラベルの印刷

1. [メイン] ツールバーの[印刷]ボタン  をクリックするか、[ファイル]メニューの[印刷]をクリックし、印刷ダイアログを表示します。
2. 適切なプリンタ名が選択されていることを確認します。
3. ラベルフォーマットのオブジェクトに対してデータベースファイルのデータが使用される場合は、[データベースの使用]チェックボックスをオンにします。[データベースのセットアップ]ボタン  を使用して、[データベースのセットアップ]ダイアログを表示することができます。
4. ラベルごとに必要なコピーの数を[重複したラベル]オプションに入力します。
5. [印刷]ボタンをクリックすると、ラベルの印刷が開始します。

既存のBarTenderフォーマットからの開始

BarTenderには、定義済みのラベルフォーマットが用意されています。その中に目的に近いフォーマットがあれば、そのフォーマットを使用する方が、まったく新しく作成するよりも手早く処理できます。

あらかじめデザインされたラベルフォーマットを表示するには:

1. [ファイル]を選択します。
2. [開く]を選択します。
3. Windows 2000、2003、およびXPでは、[ファイル形式を開く]ダイアログで、**My Documents\BarTender\Formats\Samples**に移動します。Windows Vistaでは、**Documents\BarTender\Formats\Samples**に移動します。
4. ラベルフォーマット名を1回クリックします。ダイアログの [プレビュー] ウィンドウに、ラベルフォーマットのプレビューが表示されます。

目的の用途に近いラベルフォーマットがあれば、そのフォーマット名をダブルクリックし、BarTenderでそれを表示します。必要な変更を加えたら、[保存]ではなく[名前を付けて保存]を使用して、新しいラベルフォーマットにその値を保存します。

BarTenderツールボックス

BarTenderツールボックスには、追加機能、および特定のタスクを実行する代替方法が用意されています。ツールボックスには、4つのペインがあります。

- ◆ **[コンポーネント]**: このペインは、設定したバーコード、テキスト、およびその他のオブジェクト、またはオブジェクトのグループを保存する格納箱として機能します。ラベルにドラッグすることによって、格納されているコンポーネントを再利用します。
- ◆ **[データソース]**: このペインを使用して、以前に設定したデータベースフィールドやサブ文字列など、オブジェクトを特定のデータソースにすばやくリンクします。

- ◆ **[標準バーコード]**: このペインから、特定のコード体系にすでにリンクされているバーコードをドラッグできます。
- ◆ **標準RFID**: このペインから、データ形式のタイプに既に設定されているRFIDオブジェクトをドラッグすることができます。

BarTenderヘルプへのアクセス方法

ヘルプシステムにアクセスするには、以下の手順に従います。

メイン ヘルプ ウィンドウを開くには:

[ヘルプ]メニューの[BarTenderヘルプ]をクリックします。

操作に応じたヘルプにアクセスするには:

- ◆ 各ダイアログで[ヘルプ]ボタンをクリックするか、F1キーを押します。
または
- ◆ 特定のメニュー オプションに関するヘルプは、そのメニュー オプションを反転表示してF1キーを押します。

ヘルプの使用方法とカスタマイズの詳細については、ヘルプシステムの「*BarTenderのオンライン ヘルプの使用方法*」の項目を参照してください。

Visual Basicのヘルプについては、[ヘルプ]メニューの[Visual Basicスクリプトヘルプ]を選択します。この操作により、デフォルトのWebブラウザが起動して、Microsoftの完全版Visual Basicスクリプトのヘルプ文書が表示されます。

第4章： Commanderインテグレーション ユーティリティ

Commanderとは？



Commanderは、BarTenderの2つのオートメーション(Automation)版で利用できるソフトウェア ユーティリティです。コマンド ラインまたはActiveX 自動制御が使用できないか、または費用効率が悪い場合、BarTenderを使用して自動的にラベルを印刷できます。Commanderは、アプリケーション、またはWindowsサービスとして実行できます。

アプリケーションでラベルが必要な場合は、ネットワーク上で選択した場所へのファイルの配置や、選択したアカウントへの電子メール送信など、トリガ イベント(「トリガ」と呼ばれます)を作成するだけです。Commanderはこのファイル(または電子メール)の到着を検出し、BarTenderを「起動」して、データがラベルデザインに読み込まれ、ラベルが自動的に印刷されるようにします。

トリガ ファイルまたはメッセージを空にすることができますが、BarTender、Commanderが起動する別のアプリケーション、またはCommander自身で読み込まれるデータを格納しておくこともできます。トリガ作成アプリケーションは、異なるトリガに異なる内容を含めることができるため、Commanderが実行するタスクおよびそのタスクで使用されるデータは、アプリケーションで動的に定義できます。

たとえば、内製の受注アプリケーションで、受注データをデータベースに入力し、Commanderが監視するディレクトリにNewOrder.datという空のファイルを保存します。Commanderはこのファイルを検出し、BarTenderを起動して、指定の時間以降に入力された受注データをデータベースに問い合わせるように設定されたラベル フォーマットを開きます。BarTenderは、データを読み込んでラベルを印刷します。Commanderは、NewOrder.datファイルを削除してディレクトリの監視を再開します。





Commanderの一般手順

Commanderの起動

Commander を起動するには、[スタート]メニューのBarTenderグループにあるCommanderのアイコンをダブルクリックします。最も共通のタスクの手順は次の通りです。

Commanderのタスク一覧の作成/変更

Commanderの動作は、トリガとそれを処理するタスクを識別するタスク一覧によって決定されます。タスク一覧を作成するには、以下の手順を実行します。



1. タスク一覧の[新規作成]ボタン  をクリックして、新しいタスク一覧ファイルを作成するか、[ファイル]メニューの[新規作成]を選択します。既存のタスク一覧を変更するには、[開く]ボタン  を選択するか、[ファイル]メニューの[開く]を選択してタスク一覧ファイルを検索し、[開く]をクリックします。
2. ツールバーにあるタスクの[新規作成]ボタン  をクリックして新しいタスクを定義するか、[タスク]メニューの[追加]を選択します。既存のタスクを編集する場合は、タスクを反転表示してツールバーの[プロパティ]ボタン  をクリックするか、[タスク]メニューの[プロパティ]を選択します。
3. [タスク オプション]ダイアログを使用して、タスクをトリガして、タスクがトリガされた場合に実行するコマンドの選択と設定方法についての情報を入力して、[OK]をクリックします。
4. タスク一覧に必要な各タスクに対して、手順2と3を繰り返してから、タスク一覧を保存します。

Commanderのタスクの削除、移動、再配列

一覧からタスクを削除するには、該当するタスクを反転表示してDELETEボタンを押すか、または [編集]メニューの[削除]を選択します。タスクは、必要に応じて[編集]メニューの[切り取り]、[コピー]、[貼り付け]を使用して再配列するか、別のタスク一覧へ移動します。

Commanderのタスク一覧の実行

Commanderのタスク一覧を実行するには:

1. [開く]ボタン  をクリックするか、[ファイル]メニューの[開く]を選択して、タスクリストを開きます。
2. 実行するタスクをそれぞれ反転表示して、[タスク]メニューの[有効]を選択してタスクを有効にします。
3. [検出開始]ボタン  をクリックしてトリガ検出を開始するか、[検出]メニューの[検出開始]を選択します。

その他の情報

Commanderについての詳細情報のソースが多数あります。

Commanderヘルプ

Commanderには、使用しているCommanderの詳細な例と、その機能に関する追加情報を含む詳しいヘルプ システムが付属しています。

ホワイトペーパー

Commanderの使用に関する詳細を提供している2つのホワイトペーパーがあります。

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_Commander.pdf

http://www.seagullscientific.com/ftp/whitepapers/WhitePaper_CommanderExamples.pdf

付録A：シリアル通信

概要

ご使用のコンピュータで、パラレルポート、USBポート、またはイーサネット接続のいずれかを利用できる場合は、これらの使用をお勧めします。これにより、プリンタの性能が向上するとともに、どのような種類のケーブルを使ったらよいか迷うこともなくなります。

ただし、プリンタによっては、9ピンまたは25ピン (RS-232) のシリアルポートしかないものもあります。この節では、前述の旧タイプのシリアルポート通信で発生する障害のうち、最も一般的な例をいくつか挙げながら、Windowsの最適な設定方法と、適切なシリアルケーブルの選択方法について説明します。

注意:

シリアル通信に関する問題の詳細については、ご使用のプリンタドライバのヘルプで「シリアル通信」の項目を参照してください。

設定とケーブルに関する問題

コンピュータとプリンタのシリアルポートは、設定が同一でなければ、通信の信頼性は保証されません。また、シリアルケーブルを内部的に接続する方法は複数あり、シリアルケーブルを見ても、それがどのように接続されているかはわかりません。

コンピュータとプリンタとのシリアル通信を制御するのは、印刷を実行するBarTenderなどのプログラムではありません。この点が重要です。シリアル通信のモードは、以下により制御されます。

- ◆ プリンタのシリアルポートの設定。
- ◆ コンピュータのシリアルポートの設定。
- ◆ 使用するシリアルケーブルの種類。

シリアルポートの設定

シリアル通信は、以下のパラメータによって制御されます。これらのパラメータは、プリンタとコンピュータの両方で同一に設定する必要があります。

- ◆ **ボー率**: プリンタがデータを受信するときのレートです。1秒あたりのビット数で表します。一般的な値は、2400、4800、9600、19200、38400、および57600ボーです。ごく一般的なデフォルト設定値は9600です。最高レートを設定しておく、プリンタの機能が保証されます。このレートは、シリアル通信用の各種パラメータを設定してみて試行錯誤しながら見つけてください。
- ◆ **データビット** (一般に「ワード」長またはバイト長と呼ばれます): プリンタに送出される各文字を符号化するために使用するビット数を指定します。旧タイプのプリンタではデフォルト値が7になっていることがありますが、最も一般的な値は8です。
- ◆ **パリティビット**: 通常、送信済み文字のデータビットの後でエラーチェック用として送信される任意の追加ビットです。設定可能値は、**[奇数]**、**[偶数]**、**[なし]**です。
- ◆ **ストップビット**: 送信済文字の最後に付加するポーズの長さを指します。最も一般的な設定値は、1ストップビットです。
- ◆ **フローコントロール** (一般に「ハンドシェイク方式」と呼ばれます): **[ソフトウェア]** (**Xon/Xoff**とも呼ばれます) または**[ハードウェア]**に設定することができます。フローコントロールでは、**[なし]**は使用できません。フローコントロールを無効にすると、プリントジョブに間欠的な障害が発生するか、プリントジョブの処理自体が適切に行われません。

注意:

ハンドシェーク方式の選択についての詳細は、ご使用のプリンタドライバのヘルプで、「フロー コントロール(ハンドシェーク) の設定」の項目を参照してください。

プリンタでのシリアルパラメータの設定

DIPスイッチの設定か、プリンタのフロントパネルからアクセスしたメニューシステムを使って、プリンタのシリアルポートの設定を制御します。詳細については、使用するプリンタの文書を参照してください。

大半のプリンタでは、前述のパラメータをすべて変更することはできません。必要な設定を決める場合は、使用するプリンタの説明書を熟読のうえ、Windowsと同じ設定を行うようにしてください。

Windowsでのシリアルパラメータの設定

プリンタドライバのインストール時に指定したシリアルポートの設定値を変更する必要がある場合は、以下の手順に従って、シリアルポートを設定します。

1. Windowsの[スタート]ボタンをクリックします。
2. Windows 2000、2003、およびXPでは、[設定]を選択して、[プリンタ]を選択します。Windows Vistaでは、[コントロールパネル]を選択して、[プリンタ]を選択します。Windows 7では、[スタート]を選択し、[デバイスとプリンタ]を選択します。[プリンタ](または[デバイスとプリンタ])フォルダが表示されます。
3. 設定を変更するプリンタ上で、マウスの右ボタンをクリックし、[プロパティ]オプションを選択します。[プロパティ]ダイアログが開きます。
4. [ポート]タブをクリックします。
5. ポートの設定を確認するには、[ポートの設定]ボタンをクリックします。[ポートの設定]が表示されます。
6. 必要に応じてポートの設定を調整し、[OK]をクリックします。
7. [閉じる]をクリックして、プリンタの[プロパティ]ダイアログを終了します。

適切なシリアル ケーブルの使用法

プリンタとコンピュータは、その双方が、まったく同じピン上に入力データと出力データを持つシリアル ポートを使用するため、一方のポートからの出力データをもう一方の入力データへとクロスオーバーさせる接続の設定方法を確立する必要があります。このような方法で信号をクロスオーバーして接続するシリアル ケーブルは、ヌル モデム ケーブルと呼ばれます。一方、コンピュータをモデムに接続するときによく使用されるストレートスルー シリアル ケーブルは、コンピュータ上のピン1、2、3、...をモデムのピン1、2、3、...に接続します。プリンタが、ストレートスルー シリアル ケーブルで接続されている場合は、コンピュータからの出力信号は、この出力信号を受信するプリンタの入力ピンではなく、出力信号を無視するプリンタの出力ピンに送出されます。

注意:

新しいタイプの感熱式プリンタでは、ストレートスルー ケーブルが必須になっている機種もあります。懸念される場合は、メーカー提供の取扱説明書を参照してください。

ケーブル接続とフロー コントロール (ハンドシェーク方式)

別の回線をクロスオーバーして、[ハードウェア]ハンドシェーク 方式オプションをプリンタ側から提供できるようにすることも可能です。([シリアルポートの設定](#)を参照してください。)したがって、最適なケーブルがどれかを決める場合は、プリンタの説明書を熟読することが大切です。汎用的なケーブルの設定では、すべてのプリンタに必要なワイヤ数を上回る数のワイヤが含まれていることがありますが、このように設定することで、広範な機種プリンタに対応することができます。

注意:

感熱式プリンタで最もよく使用されるヌル モデム ケーブルのピン配置図や配線図、および接地方法の注記事項については、使用しているドライバのヘルプを参照してください。

付録B：性能向上のための設定

性能向上のためのヒント

TrueTypeフォント印刷機能など、Windowsのグラフィック機能によっては、感熱式プリンタに送信される情報の量が多くなることがあります。したがって、使用するプリンタとPCの設定を最適にする必要があります。

以下のヒントには、印刷速度を最速にし、Windowsで設定されたイメージとプリンタで設定されたイメージとの違いを理解するための情報が含まれています。

RS-232 によるシリアル通信をできるだけ回避する

感熱式プリンタの機種によっては、9ピンまたは25ピン (RS-232) のシリアルポートが標準装備となっているものがあります。パラレルポート、USBポート、またはイーサネット接続は追加オプションです。プリンタ内蔵のバーコードと書体を使用するだけであれば、RS-232のシリアル通信で問題はありません。しかし、Windowsのグラフィック機能を活用する場合は、パラレルポート、USBポート、またはイーサネット接続を使用した方が、はるかに良好なパフォーマンスが得られます。

プリンタベースのオブジェクトとフォントか、ダウンロード済みのフォントをできるだけ使用する

通常、Windowsのプログラムでは、イメージやダウンロードできないフォントは、ビットマップグラフィック (印刷速度を遅くする可能性のある処理) を使用してドット単位で描画して印刷されます。感熱式プリンタの多くは、高水準コマンドを使用して、バーコード、ライン、ボックス、拡大縮小可能な定義済み (またはダウンロード済み) のテキストフォントを出力することができます。たとえば、あるWindowsのプログラムでは、大容量のドット別ビットマップ描画によるテキスト

イメージを送る代わりに、高速の制御コードをいくつか出力し、プリンタ内の定義済みフォントを使用して印刷することが可能です。

Windowsのプログラムでは、イメージをビットマップとして出力しなければならない場合があります。したがって、プリンタに送るグラフィックが多ければ多いほど、印刷速度は遅くなることに注意する必要があります。

印刷機能は、必ずしもすべてのプログラムに対応していない

感熱式プリンタに内蔵された特殊機能の多くは、プリンタの種類によって異なります。また、感熱式プリンタと、Windowsでよく使用されるプリンタは、まったく異なります。これらの理由から、標準的なWindowsプログラムが、感熱式プリンタに使う特定の高水準コマンドにアクセスすることは不可能です。しかし、BarTenderはこれらのコマンドを利用できるように設計されています。

付録C：プリンタ ドライバのトラブルシューティング

付録Aには、印刷時の問題を解決する最適な手順が記載されています。

印刷時の問題を解決するための操作手順

印刷で問題が生じたら、以下の手順を実行します。問題を解決できない場合は、Seagull技術サポートまでご連絡ください ([付録D: 技術サポート](#)を参照)。

1. **シリアルポートの設定のチェック:**シリアルポートを使用している場合は、使用中のプリンタとWindowsの設定のボー率、データビット、ストップビット、パリティをチェックします ([シリアルポートの設定](#)の [ライセンス認証](#)を参照してください。)

使用説明書に記載された「デフォルト」のプリンタ設定値が、プリンタの実際の設定値として反映されているわけではありません。あらかじめ、機械的なスイッチ (通常プリンタの背面にあります) か、フロントパネルのメニュー設定を直接点検してから、プリンタの通信設定値の構成がどのようなになっているかを確認します。

2. **ケーブルのチェック:**ケーブルが適切に接続されているかチェックし、コンピュータの適切なポートに接続されているかを確認します。Windowsのプリンタポートの設定が、プリンタケーブルの接続先ポートを適切に示しているかどうかもチェックします。
3. **プリンタのステータス ページの印刷:** プリンタの機械的な問題かどうかをチェックするには、コンピュータではなく、プリンタのコントロール パネルから、プリンタのメモリ内に格納された文書かラベルを印刷します。この文書は、プリンタ モデルに応じて名前が異なります。通常、ステータス ページ、サンプル ラベル、コンフィギュレーション、または設定ラベルなどと呼ばれます。完全な手順については、ご使用のプリンタの取扱

説明書を参照してください。テスト文書やラベルを印刷できない場合は、以降のトラブルシューティング プロセスを続行する前に、プリンタの保守点検サービスを受ける必要があります。

注意:

プリンタのステータス ページを出力するために、プリンタスイッチを調整する必要があった場合は、必ずスイッチを元の位置に戻してください。

4. **プリンタの再起動:** プリンタは、直前に失敗したプリント ジョブの後か、最後に通信設定に変更を加えた後に、適切にリセットされなかった可能性があります。プリンタの電源をオフにして5秒後に、もう一度電源をオンにしてください。再起動したら、自動テスト手順が完了したことを確認してから印刷を再実行します。(ライトは点滅しません。プリンタによっては、**Ready** (印刷可能) という文字や、印刷可能なことを示すライト (通常、緑色です) が表示されます)。
5. **ドライバのテスト ラベルの印刷:** 手順1から4を実行した後の最初のプリントジョブでは、Seagull プリンタドライバの**[テスト ラベルの印刷]**機能を使用します。
 - a. Windowsの**[スタート]**ボタンをクリックします。
 - b. **[設定]**を選択し、**[プリンタ]**を選択してください。**[プリンタ]**フォルダが表示されます。
 - c. 設定を変更するプリンタ上で、マウスの右ボタンをクリックし、**[プロパティ]**オプションを選択します。**[プロパティ]**ダイアログが開きます。
 - d. **[全般]**タブをクリックします。
 - e. **[テスト ページの印刷]**をクリックします。

ラベルが出力されない (空白のラベルも含む) か、プリンタ通信エラー メッセージが表示されない (または、この両方) 場合は、手順11に進みます。そうでなければ、手順6を続行します。

6. **アプリケーションからのデバイス テキストの印刷:** ご使用のアプリケーションでラベルを作成します。WindowsのTrueTypeではなく、プリンタ内に定義済みのフォントのみを使用します。このテストで問題がなければ、ラベ

ルにはグラフィックもTrueTypeも使用する必要はありません。したがって、目的のラベル デザインをすぐに導入し、稼動状態に戻ることができます。

7. **アプリケーションからのグラフィックの印刷 (小さいサイズ):** ごく小さいサイズのグラフィックと、ArialまたはTimes New RomanなどのTrueType文字列の1文字をラベルに追加します。最初の文字は12ポイントくらいの小さいサイズにします。

TrueTypeテキストとグラフィックが印刷されない場合は、プリンタのファームウェアかメモリをアップグレードする必要があります。詳細については、ご使用のプリンタの取扱説明書を参照してください。

8. **アプリケーションからのグラフィックの印刷 (大きいサイズ):** TrueTypeテキストの文字ポイントのサイズを上げ、TrueTypeで、単一文字ではなく単語を1つ以上印刷してみます。このテストで問題がなければ、先に進み、ラベルに必要なグラフィックをすべて印刷してみます。

9. **プリンタのメモリ不足の診断:** TrueTypeやビットマップ グラフィックが、ラベル下部に向かって、ある程度まではすべて完全に印刷されており、ラベル途中で真横に印刷が途切れている場合は、印刷するグラフィックのサイズを出力するだけのメモリがプリンタに不足しています。プリンタのリセラにご相談のうえ、プリンタのメモリをアップグレードしてください。

ラベルの印刷がそのように真横に途切れるのではなく、不適切なラベルデータや壊れたグラフィック イメージが出力されたり、ラベルの出力そのものが行われない場合も、プリンタのメモリ不足が考えられます。ただし、シリアル ポートを使用している場合は、手順10で説明したフロー コントロール (ハンドシェイク方式) の問題も考えられます (常にプリンタの電源をオフにして、再起動し、この種の障害を追跡します)。

10. **シリアル ポートフロー コントロールの問題の診断:** シリアル ポートを使用して、プリンタにデータをいくつか送った後、印刷ジョブが機能を停止し、通信エラーメッセージが生成された場合は、フロー コントロールの問題が考えられます。印刷速度を落として、この問題をテストしてください。たとえば、9600 ボーで印刷した場合は、それより低いレベルの1200レベルかそれより下のレベルでテスト印刷ジョブを試してください。(Windowsとプリンタの両方で、ポートの設定に同じ変更を加えます。)

ボー率を下げたことで問題が解消した場合、または同様の処理を行ったことによって以降の印刷ジョブで問題が発生した場合は、フローコントロールの設定値を調整する必要があります。フローコントロールを[ソフトウェア] (Xon/Xoff)から[ハードウェア](またはその逆)に切り替えてみます。プリンタでハードウェアフローコントロールを使用できるケーブルを使用していることを確認します (プリンタの取扱説明書を参照。)

11. **シリアルポートケーブルの問題の診断:** シリアルポートを使用していて、**テストラベルの印刷が失敗した場合は、ケーブル接続の問題をテストできます。** このテストは、フローコントロールを一時的にオフに行います (ハンドシェーク方式)。
 - a. プリンタの通信設定とWindowsのポート設定が一致していることを確認します。
 - b. 「ストレートスルー」シリアルケーブルではなく、「ヌルモデム」ケーブルを使用していることを確認します。
 - c. シリアルポートに対応するWindowsのフローコントロールの設定値を [なし]に変更します。次に、プリンタの電源をオフにして5秒待ち、もう一度オンにします。
 - d. プリンタの電源オンの自動テストが終了したら、小さい印刷ジョブを繰り返します。

印刷ジョブが成功したら、ケーブルにはフローコントロール (ハンドシェーク方式) システムとの互換性がないことを確認したことになります。ケーブルの何が問題かを突き止めます。問題を修正し、フローコントロールを [ソフトウェア] (Xon/Xoff) または [ハードウェア]に戻します。

12. **その他の問題の診断:** それでも印刷できない場合は、以下の問題が考えられます。
 - ◆ 通信ポートへの割り込みやI/Oアドレスで競合するハードウェア製品を別に使用している。または
 - ◆ Windowsの詳細設定が適切でない。

いずれにしても、コンピュータのベンダか、社内のコンピュータ サポート スタッフに連絡してサポートを受ける必要があります。

考えられるその他の問題:

- ◆ 不適切なシリアル プリンタ ケーブルを使用している (または、設定が不適切)。たとえば、簡単な「3線」のヌル モデム シリアル ケーブルでは、フローコントロールを[なし]に設定しない限り、Windows内からの印刷はできません。
- ◆ プリンタ ケーブルを接続したコンピュータのポートが不適切。
- ◆ コンピュータまたはプリンタのプリンタ ポートが不適切。
- ◆ プリンタの電源がオフになっているか、ネットワークが接続されていない。
- ◆ コンピュータの通信ポートが、コンピュータ内の他のハードウェア コンポーネントと競合している。

問題を解決するには、1つずつ確認していく必要があります。

付録D：技術サポート

この使用説明書やヘルプシステムを参照しても、なお疑問点が解消されない場合は、以下の電話番号または電子メールアドレス宛てにSeagullの技術サポート部門までお問い合わせください。ファックスによる技術サポートのお問い合わせにはファックスで回答いたします。インターネットによる技術サポートのお問い合わせには、インターネットで回答いたします。

技術サポートを受けるにはソフトウェアの登録が必ず必要です

製品は、次のURLでオンライン登録してください。

<http://www.seagullscientific.com/asp/registration.aspx>

製品を登録していない場合は、技術サポートを受けることができません。

必ずご使用のコンピュータのすぐそばから電話してください

技術サポートにお電話いただく際には、BarTenderを使用されているコンピュータのすぐそばからお電話ください。ご使用のコンピュータのすぐそばからお電話いただければ、当社の技術サポートスタッフがずっと容易に回答することができます。

Visual Basic スクリプトの技術サポートについて

Visual Basic Scriptingの技術サポートには限界があります。この制限については、BarTenderのヘルプで「*Visual Basic*スクリプティングの技術サポート」の項目を参照してください。

技術サポートの連絡先情報

Seagull Scientific Asia Pacific: 日本支社

電話: +81 3 5847 5780
ファックス: +81 3 5847 5781
Eメール: JapanTech@SeagullScientific.com

Seagull Scientific, Inc. - 米国、カナダ、およびラテンアメリカ

電話: 1 425 641 1408
ファックス: 1 425 641 1599
Eメール: TechSupport@SeagullScientific.com

Seagull Scientific Europe, Inc. - ヨーロッパ、中東、およびアフリカ

電話: +34 91 435 55 45
ファックス: +34 91 578 05 06
Eメール: EuroTech@SeagullScientific.com

Seagull Scientific Asia-Pacific, Inc.

電話: +886 2 3765 2440
ファックス: +886 2 3765 2467
Eメール: AsiaTech@SeagullScientific.com

索引

A

Access, Microsoft, 27

B

BarTender

Webプリントサーバーのインストール, 16

BarTenderの登録, 49

C

Commander エンタープライズ

インテグレーション ユーティリティ, 33

Commander プログラム

共通手順, 34

E

Excel, 27

H

HASP, 11

L

label management suite, 13, 14, 15

M

Microsoft Access, 27

Microsoft Excel, 27

Microsoft SQL Server, 27

O

ODBC

データの読み込み, 25, 27

OLE DB, 25, 27

Oracle, 27

R

RFID オブジェクト

作成, 23

RS-232シリアルポート, 37, 41

S

SAP

データの読み込み, 25, 27

Seagull Scientific

contacting, Seagull

Scientific、問い合わせを参照。

問い合わせ, 49

Seagull Scientificの電話番号, 49

Seagullライセンス サーバー

インストール, 12

Security Center, 4, 8

SQL server, 27

U

USBポート, 11, 12

RS-232以上, 37, 41

V

Visual Basic, 25, 32

W

Webプリントサーバー, 8, 16

あ

あらかじめデザインされたラベル
フォーマット, 31

い

イーサネット接続
RS-232以上, 37, 41
インストール
BarTender, 13
Batch Maker, 13
Commander, 13
History Explorer, 13
Librarian, 13
Print Station, 13
Printer Maestro, 13
Reprint Console, 13
Seagullライセンス サーバー, 12
Security Center, 13

う

ウインドウ. ダイアログを参照。

え

エンタープライズ
オートメーション(Enterprise
Automation)版, 5, 8, 16

お

オートメーション(Automation)版, 1, 2,
4, 5, 6, 7, 9, 11, 12, 14, 23, 33
オブジェクトの作成
テキスト, 23
バーコードまたはRFID, 23
ピクチャのインポート, 29
オブジェクトの削除, 25

オブジェクトの消去, 25
オブジェクトの移動, 24
オブジェクトの除去, 25

ぐ

グラフィック
インポート, 29

く

クリップボード, 24, 25

こ

コード体系, 28, 29
コピー
ラベル オブジェクト, 24

さ

サイズ
ラベル. ラベル サイズを参照。
用紙, 21

し

シリアル ケーブル, 40
シリアル ポート
パラメータ, 38
シリアル ポート パラメータ
Windows, 39
プリンタ, 39
シリアル通信, 37

す

ストック, 21
ストレートスルー シリアル ケーブル,
40, 46

セ

セキュリティキー, 11
セキュリティキーの取り付け, 11

ダ

ダイアログ

オブジェクト変更, 29
データベースのセットアップ, 30
バーコード オブジェクトの変更, 28
ピクチャ変更, 29
ページ設定, 21

印刷, 20, 30

ダイアログ (Commander)

タスク オプション, 34

ダウンロード可能なフォント, 41

タ

タスク一覧

Commanderでの作成/変更, 34
削除、移動、再配列, 35
実行, 35

ツ

ツールボックス, 31

デ

データソースウィザード, 26

データベース

データのログ先, 14
データの読み込み, 25, 27
作成と管理, 14
接続のセットアップ, 28

データベースからピクチャをインポート, 30

データベースの追加ウィザード, 28

テ

テキスト オブジェクト

高さの変更, 24

テキスト オブジェクトの作成, 23

デ

デモンストレーション モード, 11

ド

ドライバウィザード, 15

ドライバのアップグレード, 16

ドライバのインストール

Seagullドライバウィザード, 15

ドライバの削除, 16

ヌ

ヌル モデム ケーブル, 40, 46

バ

バーコード

コード体系の変更, 28

サイズの変更, 24

作成, 23

移動, 24

パ

パラレル ポート

RS-232以上, 37, 41

ハ

ハンドシェイク方式

シリアル ポート, 40, 45, 46

ハンドル, 23

ピ

ピクチャ

インポート, 29

ピクチャのインポート, 29

フ

フォーマット

ラベル. ラベルフォーマットを参照。

プ

プリンタ

性能向上のためのヒント, 41

指定, 20

補充品の管理, 5

プリンタ 消耗品の 追跡.

補充品の管理、プリンタを参照。

プリンタベースのオブジェクトとフォント, 41

フ

フロー コントロール

シリアル ポート, 40, 45, 46

プ

プロパティ

ラベル オブジェクト, 29

へ

ヘルプ システム

ヘルプの表示, 32

ヘルプの表示, 32

ラ

ライセンス認証, 11, 13, 17

ライセンス認証ウィザード, 13

ラベル

再印刷, 1, 3, 9

印刷, 30

ラベル サイズ

指定, 21

ラベル ストック, 21

ラベル フォーマット

Seagull Scientific提供, 31

あらかじめ作成された, 31

作成, 20

既存, 31

ラベルのデータをデータベースから読

み込む, 25, 27

ロ

ログログ.

データベース、データのログ先を参照。

付

付属アプリケーション, 13

位

位置

オブジェクトの位置を変更する, 24

余

余白

ページ, 22

割

割り込みやI/Oアドレスの競合, 46

印

印刷

- テストラベル, 43, 44
- トラブルシューティング, 43

向

向き, 21

幅

幅

- ラベル, 22

技

技術サポート, 49

操

操作に応じたヘルプ, 32

新

- 新しいラベルフォーマットの作成, 20
- 新規フォーマットウィザード, 20

既

既存のラベルフォーマット, 31

日

日付

- ラベル データとして, 25

時

時刻

- ラベル データとして, 25

画

画面. *ダイアログを参照。*

画面データ, 25

補

補充品の管理.

- 補充品の管理、プリンタを参照。

貼

貼り付け

- ラベル オブジェクト, 24

選

選択

- オブジェクト, 23

重

重複したラベルオプション, 30

高

高さ

- テキストオブジェクトの変更, 24
- バーコードの変更, 24
- ラベル, 22



Seagull Scientific, Inc. (World Headquarters)

Bellevue, WA, USA

Sales: 1 425 641 1408 (International)

1 800 758 2001 (USA & Canada)

sales@seagullscientific.com

Fax: 1 425 641 1599

Tech Support: 1 425 641 1408

Seagull Scientific Europe, Inc.

Madrid, Spain

Sales: +34 91 435 25 25 (Main)

+44 1926 428746 (UK Branch)

eurosales@seagullscientific.com

Fax: +34 91 578 05 06

Tech Support: +34 91 435 55 45

Seagull Scientific Asia-Pacific, Inc.

Taipei, Taiwan

Sales: +886 2 3765 2440 (Main)

asiasales@seagullscientific.com

Fax: +886 2 3765 2467

Tech Support: +886 2 3765 2440

Seagull Scientific: Japan Branch

Tokyo, Japan

Sales: +81 3 5847 5780 (Main)

japansales@seagullscientific.com

Fax: +81 3 5847 5781

Tech Support: +81 3 5847 5780

